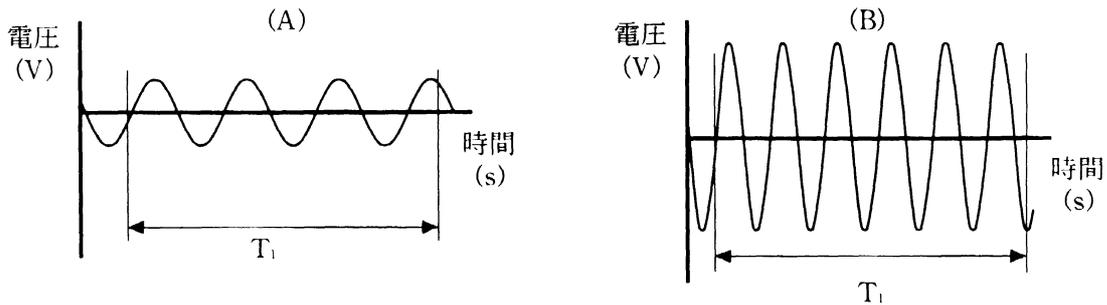


平成15年12月 検定試験

【No.17】 電子制御式4速AT（ATとは、オートマティック・トランスミッションのことをいう。以下同じ。）に関する記述として、適切なものは次のうちどれか。

- (1) 車速センサは、コイルに交流電圧を発生し、回転速度を検出している。  
 下の(A)は回転速度が速い状態であり、(B)は回転速度が遅い状態である。



- (2) 油温センサは、ATF（ATFとは、オートマティック・トランスミッション・フルードのことをいう。以下同じ。）の温度を検出し、ライン・プレッシャを下記のように制御している。

油温	ライン・プレッシャの制御内容
60℃以下	アクセル開度に関わらず一定に制御
-10℃以下	最高圧に制御

- (3) 変速パターン選択スイッチによって、変速点やロックアップ作動点を変えることができ、そのパターンは下記のように制御している。

変速パターン	制御内容	目的・用途
オート・モード	変速点を高速側に設定	経済的な運転を目指す
パワー・モード	変速点を低速側に設定	山間地などでエンジンの力が必要なとき使用される
スノー・モード	ギヤを固定、または変速をしにくく設定	雪路などの滑りやすい路面でも良好な操縦性を確保する

- (4) インヒビタ・スイッチ（シフト・ポジション・センサ、ニュートラル・スタートスイッチ等ともいう。以下同じ。）は、AT・ECUにATの油圧回路がどのレンジかを知らせており、その信号に異常があった場合、下記のように制御している。

異常内容	制御内容
信号が入力されない場合	直前の信号を入力信号とみなして制御する
複数の信号が入力した場合	入力した複数信号に優先順位をつけ、D > 2 > 1の順に優先し制御する。また、4速（オーバードライブ）への変速を禁止する